

# 各種アンケート調査等の結果

分野	各種アンケート調査							
	市民アンケート調査 (資料1-1)	ページ	企業アンケート調査 (資料1-2)	ページ	各種団体意向調査 (資料1-3)	ページ	U35 はしま若者会議 (資料1-4)	ページ
概要	対象：15歳以上の市内居住者 対象数：2,000人 回答方法：紙媒体またはWEB 調査時期：令和5年7月から8月  回収数：894 (そのうちWEB回答144) 回収率：44.7%	1	対象：市内企業・事業所 対象数：1,000社 回答方法：紙媒体またはWEB 調査時期：令和5年6月から7月  回収数：385 (そのうちWEB回答73) 回収率：38.5%	1	対象：市内を活動拠点とする各種団体 対象数：83団体 回答方法：紙媒体またはWEB 調査時期：令和5年6月から7月  回収数：70 (そのうちWEB回答47) 回収率：84.3%	1	対象：15歳以上35歳未満の市内に居住又は通勤・通学する方 参加人数：29人 実施時期：令和5年7月から9月 (計4回)	1
市の特徴	<p>■居住地として羽島市を選ぶ際に考慮したこと【問3-1】 (回答上位のもの) 「結婚相手が羽島市または羽島市近郊に住んでいたため」：40.7% 「手ごろな価格・賃料の住宅があったため」：21.5% 「親や子どもが羽島市または羽島市近郊に住んでいたため」：14.9% 「職場が羽島市内にあったため」：11.0%</p> <p>■羽島市は住みやすいまちか【問4】 「住みやすい」：18.0% 「どちらかといえば住みやすい」：41.2% 「どちらともいえない」：25.8% 「どちらかといえば住みにくい」：9.4% 「住みにくい」：3.9%</p> <p>■住みやすい理由【問4-1】 (回答上位のもの) 「長距離移動するための交通の便がよい」：38.0% 「長年住み慣れて愛着がある」：34.8% 「自然災害が少ない」：32.9% 「買い物便利」：30.6%</p> <p>■住みにくい理由【問4-2】 (回答上位のもの) 「日常生活で移動するための交通の便がよくない」：51.3% 「買い物が不便」：33.6% 「病院や福祉施設が少ない」：26.1% 「行政サービスが充実していない」：24.4%</p> <p>■土地利用の課題【問12】 (回答上位のもの) 「新幹線駅やインターチェンジを活かした土地利用が進んでいない」：54.8% 「市街化区域内に空き地や利用度の低い土地が目立つ」：30.0% 「土地利用に関する規制が厳しく土地の有効利用がされていない」：29.5% 「空き家が目立つ」：29.4%</p>	8	<p>■羽島市内における企業活動のしやすさ【問8】 「企業活動が行いやすい」：18.7% 「どちらかといえば企業活動が行いやすい」：55.8% 「どちらかといえば企業活動が行いにくい」：19.0% 「企業活動が行いにくい」：6.5%</p> <p>■羽島市で企業活動を行うメリット【問8-1】 (1番目に選択、回答上位のもの) 「交通の利便性が高い」：68.3% 「地域との関わりが持ちやすい」：8.0% 「地価が安い」：7.7%</p> <p>■羽島市で企業活動が行いにくいと感じる要因【問8-2】 (1番目に選択、回答上位のもの) 「人材の確保が難しい」：37.8% 「交通が不便である」：16.3% 「必要な事業用地を確保しにくい」：14.3%</p>	11	<p>■団体活動を行うにあたって感じている市の課題【問5】 (回答上位のもの) 市との相談しやすい体制の構築 (9件) 会員や参加者の減少 (7件) 施設の不足 (7件) 次代を担う後継者の不足 (6件) 施設・設備の老朽化 (4件) 人材の確保 (3件)</p>	4	<p>■今後のまちづくりに望むこと 子どもが集える場の確保 学童保育サービスの充実 (有料での昼食提供等) 医療・介護・保育施設職員の待遇改善、人材確保 地域医療の確保 企業誘致の推進 喫茶店やキッチンカー等によるイベント実施 空き地・空き家の活用 プラスチックごみの回収頻度増 公共交通の確保・利用促進 テレワークの推進 市民参画機会の拡大 SNSによる情報発信促進</p>	2

分野	各種アンケート調査				U35 はしま若者会議 (資料1-4)	ページ		
	市民アンケート調査 (資料1-1)	ページ	企業アンケート調査 (資料1-2)	ページ			各種団体意向調査 (資料1-3)	ページ
目指すまちづくりの方向性	<b>■目指すべきまちづくりの方向性【問10】 (回答上位のもの)</b> 「保健・医療・福祉の充実によるだれもが元気に暮らせるまち」：34.0% 「結婚・出産・育児がしやすいまち」：30.5% 「住環境の整備による快適で暮らしやすいまち」：29.5% 「若者の定住、就業を促進するまち」：23.5% 「新幹線駅周辺やインターチェンジ周辺に賑わいのあるまち」：23.4% 「企業活動支援や企業誘致の促進による活気に満ちたまち」：23.2% ※10代から40代は、「結婚・出産・育児がしやすいまち」の割合が最も高く、50代以上は、「保健・医療・福祉の充実によるだれもが元気に暮らせるまち」の割合が最も高い	40	<b>■活力ある地域社会を実現するため、今後重要と考える施策【問9】 (1番目に選択、回答上位のもの)</b> 「若者の定住、就業の促進」：25.5% 「安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくり」：17.1% 「企業誘致や起業支援による新たな雇用の創出」：12.2% 「地域産業の振興」：8.8%	14			<b>■20年後の目指すまちの姿</b> ○子育て・学び 羽島で子育てしたいと思えるまち 子どもが安心して遊べる、集まれるような地域づくり 何でも学べるまち ○健幸福祉・医療 協働により高齢者や障がい者を支えるまち 市民全員が元気に暮らせるまち 医療に心配することがないまち ○産業・交流 起業したい人が集まるまち 祭り、イベント、企業誘致による活気のあるまち 色々な働き方ができるようなまち ○市民生活・環境 分かりやすいルールづくりをするまち 子どもから大人まで安全に生活できるまち ごみの分別をもっと手軽にする ○都市基盤 誰もが利用しやすいまち 車なしの生活ができるまち ネット環境が充実しているまち 交通網が充実したまち 新幹線を生かしたまち ○計画の推進方策 新しいことに柔軟なまち 市民に還元するまち 幅広い年代の人が市政に関心を持つまち まちの情報を色々な人が簡単に知ることができる <b>■目指すまちの姿に共通する要素</b> 子育て、新しいこと、起業 → 生み育てる、創出 市民全員、誰もが、幅広い年代 → 誰も取り残さない 安心して遊べる、安全に生活できる → 安全・安心 元気に暮らせる、活気のある → 活力 ネット環境が充実、交通網が充実 → 便利 分かりやすいルール、市政に関心 → 参加・参画	3
	<b>■今後どのような土地利用を進めるべきか【問13】 (回答上位のもの)</b> 「新幹線駅周辺の賑わいを創出する」：35.6% 「市街化区域内の空き地などの有効利用を促進する」：34.9% 「住宅地において、道路、公園、上・下水道等の整備を進め、良好な住環境を形成する」：26.6% 「優良な農地の積極的な整備や、手入れが行き届いていない農地の解消を図る」：26.4%	49						
	<b>■市民の負担と行政サービスの在り方【問18】</b> 「負担は現在のままで、市民のまちづくりへの参画を進めることで、現在の水準のサービスを受けたい」：26.1% 「負担を減らし、最低限のサービスが受けられればよい」：22.0% 「負担がある程度増えても、現在の水準のサービスを受けたい」：20.0% 「負担は現在のままで、ある程度サービスが低下しても仕方がない」：18.1% 「負担がかなり増えても、多様なサービスを受けたい」：4.5%	58						
	<b>■市民の皆さんとともに重点的に取り組むべきと考えるSDGsの目標【問20】 (回答上位のもの)</b> 「すべての人に健康と福祉を」：53.4% 「住み続けられるまちづくりを」：34.9% 「働きがいも経済成長も」：31.1% 「質の高い教育をみんなに」：21.4%	61						
	<b>■デジタル技術を活用し、どのような場面で行政サービスがよくなることを期待するか【問22】 (回答上位のもの)</b> 「インターネット申請により、届け出や申請のために窓口に向くことが不要になるサービス」：39.7% 「窓口で名前や住所などを何度も書かなくて済むサービス」：36.8% 「災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとり」：34.0% 「子どもや高齢者の見守り」：19.8%	66						

分野	各種アンケート調査				U35 はしま若者会議 (資料1-4)	ページ	
	市民アンケート調査 (資料1-1)	ページ	企業アンケート調査 (資料1-2)	ページ			各種団体意向調査 (資料1-3)
SDGs	<b>■SDGsの認知度【問19】</b> 「知っている」：58.1% 「聞いたことはあるが、内容は知らない」：23.2% 「知らない」：14.8%  <b>■普段の生活のなかでSDGsを意識して行動しているか【問19-1】</b> 「している」：11.2% 「どちらかといえばしている」：39.9% 「どちらかといえばしていない」：9.2% 「していない」：6.2% 「どちらともいえない」：32.6%	60	<b>■SDGsの取り組み状況【問10】</b> 「SDGsについて理解はしているが、対応等は検討していない」：41.3% 「SDGsについて理解しており、既に目標達成のための活動を行っている」：19.5% 「SDGsについて理解しており、目標達成に向けてどうするか検討している」：19.0% 「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容までは理解していない」：15.1% 「この調査でSDGsという言葉は初めて知った」：5.2%	15	<b>■SDGsの取り組み状況【問7】</b> 「SDGsについて理解はしているが、対応等は検討していない」：54.3% 「SDGsについて理解しており、既に目標達成のための活動を行っている」：22.9% 「SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容までは理解していない」：11.4% 「SDGsについて理解しており、目標達成に向けてどうするか検討している」：10.0% 「この調査でSDGsという言葉は初めて知った」：1.4%	5	
			<b>■目標達成に向けての活動項目【問10-1】 (回答上位のもの)</b> 「働きがいも経済成長も」：55.4% 「すべての人に健康と福祉を」：43.2% 「つくる責任、つかう責任」：41.2% 「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」：37.8%	16	<b>■目標達成に向けての活動項目【問7-1】 (回答上位のもの)</b> 「住み続けられるまちづくりを」：13.9% 「つくる責任、つかう責任」：12.5% 「質の高い教育をみんなに」：11.1% 「働きがいも経済成長も」：8.3%	6	
			<b>■SDGsの目標達成に向けて活動したことによって得られた効果【問10-2】 (回答上位のもの)</b> 「社員の活動に対する意識の高まりによる日々の業務に取り組むモチベーションの向上」：27.0% 「同業他社との差別化による企業としての認知度向上」：22.3% 「これまでの活動を見直すことによる企業としての目標の明確化」：21.6%	18	<b>■SDGsの目標達成に向けて活動したことによって得られた効果【問7-2】 (回答上位のもの)</b> 「団体構成員の活動に対する意識の高まりによるモチベーションの向上」：43.5% 「補助金等の活用による団体の活動内容の充実」：26.1% 「他団体との交流促進」：13.0%	7	
			<b>■SDGsに取り組む意義【問10-3】 (回答上位のもの)</b> 「企業の責任として重要」：45.3% 「企業の価値向上において重要」：31.8% 「新たな取引先の獲得などビジネスチャンスに資する」：6.1%	19			
			<b>■SDGsの取り組みが進まないと感じる要因【問11】 (回答上位のもの)</b> 「SDGsについての理解や経験、専門性が不足しているため、取り組み方がわからない」：44.7% 「人員の問題で対応が出来ない」：27.6% 「企業として既にSDGsとは別の明確な目標があるため、改めて目標を定める必要性を感じない」：12.0%	20	<b>■SDGsの取り組みが進まないと感じる要因【問7-3】 (回答上位のもの)</b> 「SDGsについての理解や経験、専門性が不足しているため、取り組み方がわからない」：52.2% 「団体として既にSDGsとは別の明確な目標があるため、改めて目標を定める必要性を感じない」：28.3% 「人員の問題で対応が出来ない」：10.9%	8	
					<b>■SDGsの推進を図るために必要と考える行政の支援【問8】 (回答上位のもの)</b> 「SDGs推進に向けた活動への補助金等による資金の支援」：28.6% 「SDGsの理解を深めるための講座等の充実」：20.0% 「特にない」：18.6% 「SDGs推進に向けた活動の機会や場所の提供」：15.7%	9	

分野	各種アンケート調査				U35 はしま若者会議（資料1-4）	ページ
	市民アンケート調査（資料1-1）	ページ	企業アンケート調査（資料1-2）	ページ		
協働・共創	<p>■市政やまちづくりに市民の意見や要望が反映されている【問14】</p> <p>「よく反映されている」：1.0%  「どちらかといえば反映されている」：11.7%  「どちらかといえば反映されていない」：23.7%  「反映されていない」：10.9%  「わからない」：49.8%</p>	51	<p>■今後、地域や行政との連携・協働によるまちづくりの取り組みに参画したいか【問12】</p> <p>「興味がある内容であれば参画したい」：52.2%  「要請があれば参画したい」：22.3%  「参画の必要性を感じていない」：20.3%  「積極的に参画したい」：5.2%</p>	21	<p>■目指すまちの姿に向け自分たちや地域でできること</p> <p>○子育て・学び  地域で見守り育てる（寛容に見守る）  専門的な知識のある方による小中学生・高校生向けの講習会の開催  気持ちの良いあいさつをする  羽島のことを知る  親や祖父母といった身近な人に生涯学習を勧める</p> <p>○健幸福祉・医療  高齢者を地域で見守る  高齢者に外に出るように勧める  （ウォーキング、ラジオ体操などの）コミュニティを新たに作る・参加する</p> <p>○産業・交流  市内で飲食・買い物をする  個人や企業として地域の行事に参加する  SNSを活用し羽島の魅力を発信する  相続等が発生したら登記手続きを漏れなく行う</p> <p>○市民生活・環境  避難グッズ・防災グッズをそろえる  ハザードマップや避難場所・避難経路の確認  こども110番の家や地域パトロール  防犯カメラやドライブレコーダーの設置  ゴミ袋が安い店舗を自分でリサーチする  掃除やゴミ拾いのボランティア活動への参加  古紙回収やリサイクル活動に取り組む</p> <p>○都市基盤  コミュニティバスを利用する</p> <p>○計画の推進方策  ボランティアに積極的に参加する  選挙に行って投票する  若者会議のような会議に参加する  情報を待つ姿勢から自分たちからキャッチする主体的な姿勢に変える  情報リテラシーを持ち正しい情報かを判断した上で周りに広める</p>	4
	<p>■市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後行政においてどのような取り組みが必要か【問15】（回答上位のもの）</p> <p>「市民の意見や要望が反映される仕組みづくり」：47.9%  「行政情報の公開・提供の充実」：33.0%  「地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充」：23.6%  「相談窓口の充実」：23.4%</p>	52	<p>■地域や行政との連携・協働によるまちづくりの取り組みに必要なこと【問13】（回答上位のもの）</p> <p>「企業・事業所のコスト負担が大きくなること」：34.5%  「企業・事業所の事務負担が大きくなること」：17.1%  「企業・事業所の広報やイメージアップなどの具体的な効果が見込めること」：17.1%  「単独の企業・事業所としてではなく業界や地域が連携して活動できること」：11.7%</p>	22		
	<p>■地域が抱える課題【問16】（回答上位のもの）</p> <p>「子どもや若者が減少している」：45.0%  「買い物ができない等外出ができない高齢者世帯・ひとり暮らしの高齢者世帯が増加している」：32.6%  「農地の荒廃や空き家の増加といった生活環境が悪化している」：21.9%  「地域行事に参加しない人が増えた等、地域の伝統文化の保存、継承が難しくなっている」：19.1%</p>	54	<p>■SDGsや社会貢献活動の推進を図るために必要と考える行政の支援【問14】（回答上位のもの）</p> <p>「税制の優遇措置等による支援」：23.6%  「補助金等による活動資金の支援」：20.0%  「特になし」：11.4%  「SDGsの理解を深めるための講座等の充実」：10.4%</p>	23		
	<p>■地域が抱える課題の解決に向け自身でできる取り組み【問17】（回答上位のもの）</p> <p>「子どもの見守り活動」：31.3%  「地域の清掃や緑化等の環境美化活動」：29.6%  「自治会への加入や近隣住民との交流」：21.7%  「高齢者・障がい者等への福祉ボランティア活動」：15.8%</p>	56				

分野	各種アンケート調査				U35 はしま若者会議 (資料1-4)	ページ
	市民アンケート調査 (資料1-1)	ページ	企業アンケート調査 (資料1-2)	ページ		
その他	<b>■インターネット利用状況【問21】</b> 「利用している」：70.8% 「利用していないが、今後は利用したい」：4.5% 「利用していないし、今後も利用する予定はない」：17.2%	62	<b>■経営上の問題点【問4】 (回答上位のもの)</b> 「人材の不足」：56.1% 「利益率の低下」：28.3% 「人件費の負担増」：24.4% 「受注 (顧客) 量の減少」：16.1%	3	<b>■活動における問題点・課題【問4】 (回答上位のもの)</b> 「人員の不足・新規人員の確保」：28.6% 「団体構成員の高齢化」：25.7% 「役員のなり手がいない」：15.7% 「活動資金の不足」：11.4%	3
	<b>■インターネット利用目的【問21-1】 (回答上位のもの)</b> 「情報検索 (ニュース・天気等)」：78.6% 「ウェブサイトの閲覧」：74.6% 「無料通話 (LINE等)」：73.1% 「動画投稿サイト (YouTube等)」：56.9%	63	<b>■今後、社において (経営上の) 注力すべき対応【問6】 (回答上位のもの)</b> 「賃金の底上げ」：49.9% 「労働時間等の労働条件の改善」：36.1% 「新分野展開、業種転換など事業の再構築」：21.3% 「業務効率化に向けたDXの推進」：18.4%	8	<b>■団体活動を行うにあたり感じている市の課題に対して望まれる対応策【問6】 (回答上位のもの)</b> 活動内容への支援の充実 (8件) 興味や理解を深める啓発活動 (5件) 活動内容等の広報・周知 (5件) 市や団体間の連携の強化 (5件) 施設の適正化 (5件) 活動の場の確保 (4件) 市との相談しやすい体制の構築 (4件)	4
	<b>■インターネットを利用しない理由【問21-2】</b> 「設定や操作方法がわからない」：51.3% 「興味や必要性がない」：48.7% 「ウイルス感染や個人情報漏洩などセキュリティに不安がある」：29.2% 「機器の購入費や通信費が高い」：20.8%	65	<b>■事業の継続、発展のために必要と考える行政の支援【問7】 (1番目に選択、回答上位のもの)</b> 「雇用に対する補助」：23.1% 「設備投資に対する補助」：14.5% 「人材育成への支援」：14.0% 「各種規制の緩和」：11.7%	10		